



## A案

『積み重ねてきた伝統を  
未来へと発展させるターミナル』

- 歌舞伎の市松模様\*をモデルとし、ガラスを多く使用
- 駅舎の下面は観音下石(白華石)を使用し、エントランスには地元産材を活用

※市松模様：正方形を格子状に並べた柄模様



## B案

『慣れ親しんだ白山の雄大な山並みと  
未来を感じるターミナル』

- 雪をまとった霊峰白山の山並みを立体的にイメージ
- 駅舎の下面では、山並みの重なりと木々をイメージした開口を設置



## C案

『小松の原風景と歴史・文化・風土が  
呼応するターミナル』

- 霊峰白山の山並みと木場湯の水面をイメージしたガラスを全面に使用
- エントランスは石切場をイメージし、石文化をPR

※デザイン案は東口広場側から見たイメージです。案のA、B、Cについては、順位を示すものではありません。

応募先・問い合わせ  
まちデザイン第1課  
〒923-8650  
小馬出町91番地  
☎24・8099 FAX 24・8189  
✉toshibei@city.komatsu.lg.jp

①投票箱へ投かん(投票箱設置箇所  
／市役所、南支所、サイエンスヒ  
ルズこまつ、市民センター、JR小  
松駅、JR栗津駅、木場湯西園地、  
イオンモール新小松)  
②まちデザイン第1課へ郵送また  
はFAX、電子メールにより送付

募集期間 12月1日(金)～15日(金)  
応募方法 投票用紙のアンケート  
項目に記入の上、以下の方法でご応  
募ください。投票用紙は、投票箱設  
置箇所にあるほか、市ホームページ  
からもダウンロードできます。

デザイン案について  
意見を  
募集します



# 北陸新幹線 小松駅デザイン案 について皆様のご意見を聞かせてください



問い合わせ まちデザイン第1課 ☎24・8099

鉄道・運輸機構から  
駅舎外観デザイン案が  
提案されました



▲11月8日、鉄道・運輸機構大阪支社長が市役所を訪れ、和田市長にデザイン案を提案しました。

2023年春に開業予定の北陸新幹線小松駅。その駅舎のデザイン案(3案)が、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構から示されました。

このデザイン案は、平成27年12月に小松市が鉄道・運輸機構へ申し入れた「新幹線小松駅基本コンセプト」を反映して作成されたものです。

今後、皆さんからのご意見や小松駅舎デザイン検討委員会の意見などを基に3つのうち1案を選定し、鉄道・運輸機構に提示する予定です。

## ふるさとの伝統を未来へつなぐ『ターミナル』

### 1 温故知新

- ①伝統(駅西ゾーン)と未来(駅東ゾーン)を融合したデザイン
- ②歴史・伝統要素(曳山、子供歌舞伎、勧進帳など)を取り入れたデザイン
- ③光、音など五感で体感及び共感できるフューチャーデザイン
- ④ふるさと(木場湯、里山など)が回想できるデザイン

### 2 ふるさと資源の戦略的な演出と共創

- ①市民力で培われた小松ブランド(ものづくり、地域産材、埋蔵文化財など)を活用したデザイン
- ②和文化をモダンに活用したアート性のあるデザイン

### 3 駅のイン(内側)とアウト(外側)から楽しさを発信

- ①視覚コミュニケーション(白山眺望など)を促すスクリーン性デザイン
- ②駅特有のアクティビティ(新幹線車両・人の動きなど)を演出するデザイン
- ③在来線駅と一体化し、歴史伝統から未来を表現するデザイン

北陸新幹線小松駅デザイン  
基本コンセプト

北陸新幹線小松駅舎デザイン検討会や意見募集などを経てまとめた「新幹線小松駅基本コンセプト」のうち、駅のデザイン性に関するものは次のとおりです。